

- 学ぶ人
- 思いやる人
- 鍛える人

## 三年生は修学旅行の計画を立てているところです。ちょっと時間をいただいて、

箱館戦争のお話を・・・

～土方歳三 箱館（函館）一本木閉門で死すの場～



修学旅行 5月9日～5月12日まで、道南・札幌方面を全行程バスで行きます。函館市自主研修、ルスツ高原、札幌劇団四季「オペラ座の怪人」小樽市研修が主な行程です。一日目の函館市は五稜郭タワーも新しくなり、満開の桜が見頃でしょう。この日は1869年（明治2年）6月10日五稜郭から一本木閉門（現函館駅付近）へ至る土方歳三最後の日を少しお話ししました。修学旅行が楽しみです。

永倉「明治元年、土方は蝦夷地北海道の松前城を」  
藤堂「たった10人で突撃、」  
永倉「やがて新政府軍が攻めてくる。」  
ヤマナミ「一分間に百八十発が発射できるガットリング機関銃が土方達をねらう」  
永倉「しかし、土方軍は強い、二股口、天狗だけ、台場山と必死に抵抗する。」  
ヤマナミ「やがて 雨が降り出す中 銃撃戦は 朝まで続いた。」  
隊士1「副長、明日は弁天台場に行かれるのですか」

土方「見殺しにはできないからな」  
隊士2「やっぱり、弁天台場に行かれませんか、」  
隊士3「副長、死ぬ気なんじゃないでしょうね」  
土方「ばか、今まで俺が、一度でも死んだことがあるか」

戯曲「走れヤマト」より

## ～生徒会認証式 4月14日



## 生徒会が充実しています



役員名	氏名	学年・組	氏名	学年・組	氏名	学年・組
会長	西条 隼児	3年2組	吉田 琉夏	3年1組	宮下 遙登	3年2組
副会長	鈴木 寛教	3年1組	稲井 健人	3年3組	石黒 晃太郎	3年3組
副会長	今井 なつき	3年4組	遠藤 日奈会	2年1組	米森 恵利	2年2組
事務局長	井出 風人	3年2組				
事務局次長	谷澤 絵里	3年2組				
事務局次長	遠藤 文美恵	3年1組				

今年度の学校の重点目標は、すでに何度かお話ししたように「創る！学び・つながり」です。この重点をよく理解し、生徒会活動は最大の自己実現を目指していきましょう。

皆さんの、小さな思いや、アイデアを「つなげて」活動にしましょう。

《常任委員会・専門委員会委員長》

生活	田中 慎二	3年1組	図書	安藤 美羽	3年4組
学芸	鈴木 真奈	3年2組	報道	高橋 玲香	3年1組
保体	寺田 晶	3年4組	生徒会誌	高山 俊助	3年2組
美化	柳澤 将輝	3年3組	選挙管理	中山 真那	3年2組

## お知らせ&お願い

### 1. プリント類は届いていますか？

毎日ではありませんが、学級・学年・学校・保健・PTA関係などの文書が配布されています。確認事項が必要な重要なものもたくさんあります。時折、「手元に渡っていない」、「そんなプリントを見たことがない」という声が聞かれます。ご家庭でも学校からの配布物がないかどうかお子さんに一声かけてみてください。かばんの中に眠っていることがあるかもしれません。

### 2. 年間行事カレンダーについて

今日4月20日参観日に暫定(白黒)の年間行事表をお配りします。今週調整して4月22日(火)に全家庭に今年度の行事予定表(色紙)配布予定です。一年間の主要な行事を載せてありますので、各家庭でご覧になり、家族の予定を立てられる時などの参考にしてください。

### 3. 家庭訪問について

5月2日(水)から、計画的に行います。ご家庭にお邪魔して、家庭の様子や雰囲気を感じながら、子どもたちをより深く理解したいという取り組みです。家庭訪問は義務教育が行ってきた伝統的な家庭との連携の取り組みです。文化でもあります。ぜひ、お時間をいただき、有意義なものにいたします。

### 4. 修学旅行出発は9日です

9日、函館から留寿都、札幌、小樽と回ります。毎年、卒業していく生徒に「中学校の三年間で一番思い出に残っている事は？」と訊ねると「修学旅行」ですと答える生徒が多いものです。思い出に残る時間を創ってください。見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、集団生活のあり方や公衆道徳などについての望ましい体験を積むことが大事ですね。

### 5. 家庭訪問期間に交通安全教室・薬物乱用教室を行います

5月7日は全校生徒による「交通安全教室」9日は1、2年生対象に「薬物乱用教室」を行います。外部から講師を招いています。もしよろしければ、この機会に保護者の皆様の席もご用意いたしますので、足を運んでみてください。

「春のうららの隅田川 のぼり下りのふなびとが・・・」廊下に聞こえる歌は滝廉太郎の「花」、3年生が春に歌う歌です。私が中学生の時も授業で花を歌いました。(何しろ明治から歌い継がれています。)

その時、「春の」と「うらら」の間に休符があることを教えてもらった記憶があります。

**「春のうららの」じゃなくて、「春の」、「うららの」と歌うと風景が立つでしょ、だから滝廉太郎は音楽の天才なのです。」**と先生は言ったように思います。

**休符の一瞬に人々はそれぞれの春の風景を想像し、休符の一瞬に頭に映像が広がるのでしよう。**

「春の・(休符)うららの」校舎に明治の天才の音楽が流れています。校舎の梢から春の鳥が鳴いています。帯広の春は青空と山脈の美しさでしょう。

人は身体のリズムで生活しています。ですから、**休符ひとつで「心の風景を」調整**できます。自分のリズムを知ることは、自分の良さを知ることによく似ています。

※滝廉太郎は明治の西洋音楽黎明期の代表的な音楽家。1900年8月、20才で「花」作曲、詩は武島又次郎。1903年6月29日23才の若さで死去した。代表曲「荒城の月」は海を渡りベルギー国で賛美歌として歌われている。

中学生諸君 心に風景を……………。